

令和7年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：23008 33004

学校名：福移学園

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <5、8年男子>	○両方の学年が昨年度の記録を上回った種目 握力、上体起こし、20mシャトルラン、ソフトボール（5年）ハンドボール投げ（8年） ○両方の学年が前回の記録より下回った種目 なし	・母体数が少なく、数値のみでは全体の傾向を把握することは難しいが、筋持久力、全身持久力、巧緻性は昨年度の記録を上回っていた。今後も、下記の取組を継続して取り組んでいく。
体力・運動能力 <5、8年女子>	○両方の学年が昨年度の記録を上回った種目 握力、ソフトボール（5年）ハンドボール投げ（8年） ○両方の学年が前回の記録より下回った種目 なし	・母体数が少なく、数値のみでは全体の傾向を把握することは難しいが、筋力、巧緻性は昨年度の記録を上回っていた。今後も、下記の取組を継続して取り組んでいく。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	・「運動やスポーツをすることが好き」と回答した子どもの割合 5年男子 R5:75%→100% 5年女子 R5:43%→100% ・「運動は大切」に肯定的な回答を選んだ子供の割合 8年男子 80% 8年女子 100%	・母体数は少ないが、運動、スポーツに対する興味や意欲が増加傾向にあり、全国平均と比較しても上回っている。
三つの取組		
①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
具体的な取組 ○準備運動等の場面で、縄跳び運動を継続させ、個々の目標設定などを行いながら基礎体力の向上を図る。 ○ゲーム要素のある運動プログラムを積極的に取り入れるとともに、個々の運動能力に応じた参加方法を工夫し、運動への意欲の向上をねらう。 ○1人1台端末等を活用しながら、自身の動きを撮影したり、試合の様子を撮影したりして、児童生徒が自らの運動に対する課題や解決方法を見出すことができるようにする。	○全校で実施している体力向上プログラム「福移きたえーる」を通して、学期ごとに全校で体力向上に向けた運動（持久走、縄跳び、歩くスキー）に取り組み、年間通して学校全体での運動機会を創出する。 ○前期課程ではなわとび記録会を開催し、毎年の伸びを実感できるようにする。また、8の字跳び月間を設け、1～9年生が関わり合いながら冬期間でも運動を行う習慣を身につけることを促す。 ○後期課程では運動会の準備活動や、昼休みの時間を活用して保体委員会が企画する「健康運動」において、集団で協働的に物事に取り組む楽しさや効果を実感できる機会を増やす。	○各教科における生命や食に関する取組や、総合的な学習の時間（レインボータイム）での野菜作りの取組を関連させながら、食に関する関心や理解、自然や生命を尊重する態度を育む。 ○保健体育の授業や道徳、特別活動等で、専門的な知識をもつ方々の講演などを通して、健康に対する理解を深め、具体的な実践について考えていくようにする。 ○給食カレンダーや各種お便り、ポスター等を工夫して作成、配付、掲示し、必要な情報を適宜継続的に提供する。
家庭・地域との連携・協働	○保健体育科の評価規準に基づく学習状況調査結果の活用（日常の実技テストや観察等） ○全国体力・運動能力、運動習慣等の調査や学校独自の調査結果等を活用／1～6年生での体力テストの実施（3種目）による調査結果等の活用 ○学校独自の児童・生徒アンケートや保護者アンケート等の活用 ○学校評議員会・学校関係者評価等の活用	